

2018年7月26日
有限責任監査法人トーマツ

News Release

非金融機関向けトランザクションレンディングに係る アドバイザーサービスを開始

ビッグデータ・IoT・AIを活用し、金融事業参入に向けた取引履歴等に基づく融資ビジネスの導入を支援

有限責任監査法人トーマツ(東京都港区、包括代表 國井泰成、以下トーマツ)は、2018年7月より、トランザクションレンディングに係るアドバイザーのサービス提供を開始します。本サービスは、ビッグデータやIoT、AIなどの専門家と、信用リスクの専門家等で組成されたチームにより、非金融事業社向けに、金融事業参入に向けたトランザクションレンディング導入における事前調査、データ分析・モデル作成、導入までを支援するものです。

膨大な情報を収集し、それを自在に分析することが可能になった現在、様々な業種でビッグデータの活用が進んでいます。近年、非金融機関による金融事業への進出が進展しており、トランザクションレンディングは金融事業の中でもデータを利活用した代表的なサービスとなっています。従来の融資判断では財務諸表などが使われてきましたが、トランザクションレンディングでは、入出金等の取引履歴のデータを活用します。

■サービスの概要および特長

トランザクションレンディングは、企業が保有している取引履歴のデータを活用するため、従来よりも短い審査期間で融資判断を可能とする特性があります。そのため、サイクルの早いビジネス環境下においても、企業の資金ニーズに応じた迅速な資金調達を可能とし、競争優位を確立することができます。他方、非金融機関による金融事業への参入は、企業における経済圏の拡大や顧客の囲み込みにつながることから、関心が高まっています。

そこでトーマツは、トランザクションレンディングの特性を活用した新たなビジネスの導入を検討する非金融機関向けに、金融事業参入の支援を行います。

特長①事前調査から導入計画まで支援

トランザクションレンディング導入の事前調査(事例調査、自社保有データの利用可能性検討、ビジネスモデルの検討)から、スコアリングモデルの作成、ビジネスモデルの構築、および、トランザクションレンディング導入計画を支援します。

特長②データ活用における課題を解決

様々な場面においてデータの活用が問われる今、データ活用は企業にとっても重要な課題のひとつです。従来の財務データだけでなく、IoT等を通じて収集された取引データや在庫情報、顧客情報など企業が保有するビッグデータをトランザクションレンディングにおいて活用することで、データ活用における企業の課題を解決します。

特長③専門チームを組成

本サービス提供にあたっては、金融ビジネス、信用リスクアドバイザーの専門家、ビッグデータや AI を活用したスコアリングモデル構築技術を保有するアナリティクス専門家とで専門チームを組成し、実効的なアドバイスを提供します。

■サービスの流れ

フェーズ 1 事前調査

事例紹介、独自データの利用価値検討、ビジネスモデルの検討、ロードマップの作成を実施します。事例を基に、企業が独自に持つデータの利用価値及びビジネスモデルを検討した上でモデリングフェーズに向けたロードマップを作成します。

	1. 導入事例紹介	2. 独自データ 利用価値検討	3. ビジネスモデル 検討	4. PoC 計画策定
目的	国内外取組事例調査	自社データの 利用可能性検討	事例を元にした顧客ター ゲット・マネタイズ検討	PoC実施、導入に向けた 方針検討
タスク (トーマツ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外導入事例からビジネスモデル種類の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ECデータ活用型 ➢ 会計決済データ活用型 ➢ データ複合活用型 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自社保有データの棚卸 ■ 対象データの検討および利用可能性の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネスモデル検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢ データ・モデル販売 ➢ 金融子会社設立 ➢ 外部企業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PoC(フェーズⅡ)計画の策定 ■ 導入検討のロードマップ
タスク (企業)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査対象企業候補に対する意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貴社保有データ・活用可能データの情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ サービス展開の方向性に対する意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PoC計画に関する意思決定

フェーズ 2 スコアリングモデル PoC

フェーズⅡではスコアリングモデル構築の PoC(Proof of Concept :有効性の実証)、実施、事業化に向けた論点整理、および、ロードマップの作成を行います。スコアリングモデル PoC では、具体的に活用可能なデータをもとに、AI などの分析技術も活用しながら、スコアリングモデル構築の試行をすることで、実現可能性、および、導入に向けた論点を洗い出しを行います。

	スコアリングモデルPoC			4.事業計画詳細化
	1.データ選定・抽出	2.データ理解・クレンジング	3.データ分析	
目的	分析対象データ・ 関連資料の取得	データ理解・クレンジング	分析モデル決定 スコアリングモデル構築	事業計画詳細化 今後の方針検討
タスク (トーマツ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分析対象データの特定 ■ データ抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ理解 ■ データクレンジング ■ データ統合 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スコアリングモデル案作成 ■ スコアリングモデル案評価 ■ モデル判定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 融資条件検討 ■ ビジネスモデル検討 ■ ロードマップ(フェーズⅢ)策定
タスク (企業)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分析利用データの決定 ■ 対象データの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スコアリングモデルに対する評価・意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 融資条件検討・意思決定 ■ 検討に際する意思決定

フェーズ 3 導入計画

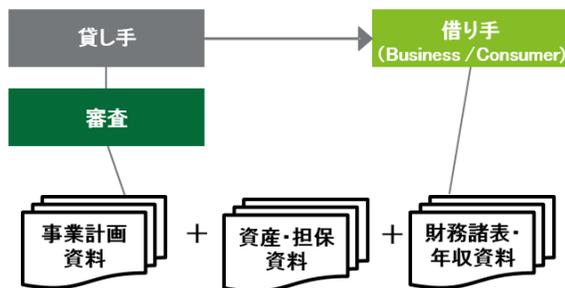
トランザクションレンディング事業導入に向けた構想策定から、与信業務設計、事業導入のロードマップ策定までを行います。

	1. 導入構想	2. 与信業務設計	3. 導入計画の策定
目的	導入に向けた構想策定	業務詳細設計	導入計画の詳細化
タスク (トーマツ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導入に向けた事業構想の策定 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業務設計 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 与信業務設計 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 法務面 ➢ システム ➢ 外部連携含む体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本事業の導入計画策定 <ul style="list-style-type: none"> ➢ タスク詳細化 ➢ ロードマップ策定
タスク (企業)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業構想の意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務設計に関する意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導入計画に対する意思決定

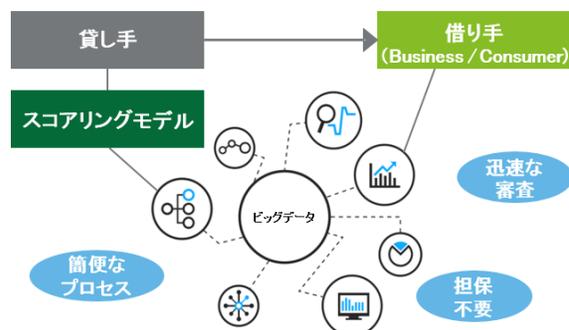
■トランザクションレンディングとは

「トランザクションレンディング」とは、事業や財務・年収情報に基づく返済能力の評価および資産・担保の評価を柱とする伝統的な融資とは異なり、これまで融資審査時に利用されてこなかった売買や資金決済、顧客評価などの取引履歴(トランザクション)等のさまざまなデータを収集、モデルによって信用力判定・融資条件決定を行う枠組みです。

伝統的な融資の概念図



トランザクションレンディングの概念図



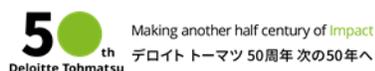
	伝統的な融資	トランザクションレンディング
審査の観点	財務諸表を中心とした企業事業計画に基づく融資決定	リアルタイムのビジネス状態、売上、在庫、評価等に基づく融資判断
活用情報	財務諸表・事業計画資料・担保等	購買データ・決済データ・顧客評価・取り扱い商品等
審査期間	2週間～	最短数分

<報道機関の方からのお問い合わせ先>

有限責任監査法人トーマツ 広報担当 新井

(デロイトトーマツ コーポレート ソリューション 合同会社)

Tel: 03-6213-2050 Email: audit-pr@tohatsu.co.jp



デロイトトーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイト トーマツ 合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション 合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 11,000 名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界 150 を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを Fortune Global 500® の 8 割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約 245,000 名の専門家については、[Facebook](https://www.facebook.com/deloitte)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/deloitte)、[Twitter](https://twitter.com/deloitte) もご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。